

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 2 部門第 2 区分
【発行日】 令和 7 年 4 月 11 日 (2025.4.11)

【公開番号】 特開 2024-71373 (P2024-71373A)
【公開日】 令和 6 年 5 月 24 日 (2024.5.24)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2024-095
【出願番号】 特願 2023-193688 (P2023-193688)
【国際特許分類】

B 3 0 B 1/42 (2006.01)
F 1 6 H 25/22 (2006.01)
F 1 6 H 25/20 (2006.01)
B 2 1 C 23/21 (2006.01)
H 0 2 K 7/14 (2006.01)

【F I】

B 3 0 B	1/42	
F 1 6 H	25/22	A
F 1 6 H	25/20	D
B 2 1 C	23/21	Z
H 0 2 K	7/14	Z

【誤訳訂正書】

【提出日】 令和 7 年 4 月 1 日 (2025.4.1)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】 特許請求の範囲

【訂正対象項目名】 全文

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ダイ (12) を介して、プレスされる材料 (11) を押出加工するための押出プレス機 (10) であって、

前記プレスされる材料 (11) を保持する受容体 (13)、及び前記ダイ (12) に対して移動させることができるモジュール (31) を有し、前記モジュール (31) は、前記押出加工中に電気モータ駆動部 (40) によって、前記押出加工に必要な力を用いて作用させることができ、

ここで前記電気モータ駆動部 (40) は、前記力に対して垂直方向の遊びを有し、かつ少なくとも自由度 2 を有する軸受ユニット (60) によって、前記ダイ (12) に対して移動可能な前記モジュール (31) に接続されることを特徴とする、押出プレス機 (10)。

【請求項 2】

前記電気モータ駆動部 (40) は、前記押出加工中に、緊張下で耐えて、緊張によって前記押出加工に必要な前記力に対抗する緊張要素 (71) の領域を収縮させるための、収縮手段 (70) を駆動することを特徴とする、請求項 1 に記載の押出プレス機 (10)。

【請求項 3】

前記電気モータ駆動部 (40) は、リニア駆動部 (73) であることと、前記押出加工中に前記ダイ (12) に対して所定の位置に固定されたモジュール (32)、及び前記押出加工中に前記ダイ (12) に対して移動可能な前記モジュール (31) を、前記押出加工中に相対的に移動させることを特徴とする、請求項 1 に記載の押出プレス機 (10)。

【請求項 4】

前記軸受ユニット（６０）はカーダニックジョイント（６１）であり、及び／または自由度２を有するソケット（６２）を備えることを特徴とする、請求項１に記載の押出プレス機（１０）。

【請求項５】

前記収縮手段（７０）は、リニア駆動部（７３）を備え、前記ダイ（１２）に対して所定の位置に固定された前記モジュール（３２）は、緊張によって、前記押出加工中に前記緊張要素（７１）によってダイ（１２）に対して移動可能な前記モジュール（３１）に接続されることを特徴とする、請求項２に記載の押出プレス機（１０）。

【請求項６】

前記電気モータ駆動部（４０）は、直接駆動部であり、及び／またはリニアアクチュエータを備えることを特徴とする、請求項１に記載の押出プレス機（１０）。

【請求項７】

スピンドル（２１）、及び前記スピンドル（２１）に対して軸方向に移動させることができるナット（２２）を備えることを特徴とする、請求項１に記載の押出プレス機（１０）。

【請求項８】

前記緊張要素（７１）は、少なくとも１本の緊張ロッド（１６）を備えることを特徴とする、請求項２に記載の押出プレス機（１０）。

【請求項９】

前記緊張要素（７１）は、前記ダイ（１２）に対して所定の位置に固定された前記モジュール（３２）としてダイ用横梁（１５）に、及び／または前記ダイ（１２）に対して移動可能な前記モジュール（３１）としてのカウンタ横梁もしくは可動横梁（１７）に、係合することを特徴とする、請求項２に記載の押出プレス機（１０）。

【請求項１０】

力が適用される前記モジュール（３１）は、少なくとも１つの可動横梁（１７）によって誘導されるか、または前記モジュール（３１）が前記可動横梁（１７）であることを特徴とする、請求項１に記載の押出プレス機（１０）。

【請求項１１】

前記力が適用され、かつ前記ダイ（１２）に対して移動可能である前記モジュール（３１）は、押出パンチ（１４）であるか、または前記押出パンチ（１４）を保持することを特徴とする、請求項１に記載の押出プレス機（１０）。

10

20

30

40

50